

古伊万里カラーパレット—釉薬編—

The Colors of Old Imari: Glazes

いろどり・つやめく 釉薬の世界



展覧会『古伊万里カラーパレット』は江戸時代の伊万里焼の「色」を特集した、夏秋連続企画展示。前期の夏季にあたる今展では、釉薬による装飾に注目します。

釉薬とは、やきものの表面に施されるガラス質の膜です。耐水性のほか、色や質感といったうつわの装飾性を高める役割を担っています。

伊万里焼では、白い素地と透明釉による白、瑠璃釉による青、青磁釉による青緑、錆釉による茶が初期から主にあらわされています。基本は1種類の釉薬でうつわ全体を覆いますが、ひとつのうつわに複数の釉薬を掛け分けたり、筆で描いた文様と組み合わせたりと、釉薬による色の表現に注目するとそのヴァリエーションの豊かさに驚かされます。

今展では、釉薬による多彩な装飾をお楽しみいただける館蔵の伊万里焼、約80点を厳選。やきもの専門美術館ならではの視点で展観する、いろどりつやめく釉薬の世界をご堪能ください。

展覧会情報

- ◇ 名称：古伊万里カラーパレット—釉薬編—
- ◇ 会期：2025年7月11日(金)～9月28日(日)
- ◇ 開館時間：10:00～17:00 (入館受付は16:30まで)
※金曜・土曜は10:00～20:00 (入館受付は19:30まで)
- ◇ 休館日：月曜・火曜
※7月21日(月・祝)、8月11日(月・祝)、9月15日(月・祝)、9月23日(火・祝)は開館。
- ◇ 入館料：一般1,200円 / 高大生500円 ※中学生以下は入館料無料。
※8月9日(土)は中学生以下の方とのご同伴で一般料金から200円割引いたします。
- ◇ 会場：戸栗美術館 (東京都渋谷区松濤1-11-3)
- ◇ 交通：渋谷駅ハチ公口より徒歩15分・地下鉄A2出口より徒歩12分
京王井の頭線 神泉駅北口より徒歩10分
当館には駐車場はございません。近隣のコインパーキングをご利用ください。

夏は釉薬、秋は絵具。古伊万里の「いろどり」を二季連続でご紹介

今展では、江戸時代の伊万里焼の初期から主に使用されている4つの釉薬に注目。釉薬の色による装飾とその魅力の特集いたします。第1章では1種類の釉薬でうつわ全体を装飾した単色の潔い趣きを、第2章ではひとつのうつわに複数の釉薬を用いる掛け分け技法や絵付けとの共演の妙を、戸栗美術館の誇る館蔵の伊万里焼からご紹介いたします。

なお、釉薬のみに焦点を当てて通観する展覧会は当館では約7年ぶりの開催です。伊万里焼を通史的かつ網羅的に収蔵する専門館ならではの視点で、驚くほどに豊かな釉薬による装飾を紐解きます。

◆ 第1章「釉薬の種類」(特別展示室・第1展示室)



◇ 透明釉

無色透明の釉薬。伊万里焼の基本の釉薬で、磁器の特色である素地の白を最大限に生かす。

◀ 画像① 白磁 桔梗形猪口

伊万里 江戸時代(17世紀後半) 口径 9.7cm

端正な器形を際立たせる素地の白とガラス質のつやによる潔さが魅力。



◇ 瑠璃釉

透明釉に呉須を混ぜ込んだ釉薬。酸化コバルトを発色の材料として藍色をあらわす。呉須の含有量で濃淡に変化が生じる。

◀ 画像② 瑠璃釉 牡丹唐草文 三足香炉

伊万里 江戸時代(18世紀) 高 6.5cm



◇ 青磁釉

酸化第二鉄を1～2%含む釉薬。還元炎焼成をすることで青緑色を呈する。釉薬の鉄分の量や焼成の巧拙など様々な影響が色調に出やすい。

◀ 画像③ 青磁 鮑形皿

伊万里 江戸時代(18世紀) 口径 16.5×13.2cm

一口に青磁と言ってもその色調は時代や産地によって異なり奥深い。



◇ 銹釉

酸化第二鉄を8～10%ほど含む釉薬。様々な要因によって黄色味のある茶から濃い黒色まで色調のバリエーションが見られる。

◀ 参考画像 銹釉 碗

伊万里 江戸時代(17世紀中期) 口径 14.2cm

◆ 第2章「色の取り合わせーいろどり・つやめくー」（第2展示室）

◇ 釉薬のみの掛け分け

絵付けを伴わず、釉薬の掛け分けのみで装飾したタイプ

釉薬に直接浸す、または柄杓等で掛ける



▲画像④

る り さびゆう わん
瑠璃銹釉 碗

伊万里 江戸時代（17世紀中期）口径 14.3cm
一部を残して銹釉を掛けたのち、残した部分に瑠璃釉を掛ける。白い磁肌を隠し、銹釉によって陶器風に見せている。



▲画像⑤

せい じ り ゆう りん か ば ち
青磁瑠璃釉 輪花鉢

伊万里 江戸時代（18世紀前半）口径 19.7cm
内面は青磁釉、外側は瑠璃釉、高台内は透明釉、縁銹（口縁部分に施された銹釉）を施す。綺麗な掛け分けには高い技術を要する。

釉薬を筆でとり、絵具のように使用する



◀画像⑥

せい じ り さびゆう さざりゆうもん さんぞくさら
青磁瑠璃銹釉 鷺龍文 三足皿

伊万里 江戸時代（17世紀中期）口径 24.0cm

うつわの凹凸文様に沿って、透明釉、瑠璃釉、青磁釉、銹釉で賦彩する。

◇ 釉薬の掛け分け＋絵付け

釉薬の掛け分けに加えて、染付や上絵などの絵付けを伴っているタイプ

青磁釉 × 透明釉
(透明釉部分に染付)



▲参考画像

せい じ そめつけ なみもん ふながたさら
青磁染付 波文 舟形皿

伊万里 江戸時代（17世紀後半）口径 17.2×8.2cm



銹釉 × 透明釉
(透明釉部分に上絵・染付)

◀画像⑦

さびゆういろ え しゃせんもん びん
銹釉色絵 斜線文 瓶

伊万里 江戸時代（18世紀前半）高 22.3cm

◎今展では全出展作品のキャプションにカラーパレットを表示。視覚的に釉薬の色をご紹介します。

展覧会紹介文

- ◇ 釉薬の色による装飾に注目し、館蔵の伊万里焼約 80 点を出展。(29 字)
- ◇ 『古伊万里カラーパレット』は江戸時代の伊万里焼の「色」を特集した夏秋連続企画展示。前期にあたる今展では釉薬（やきものに施されるガラス質の膜）による装飾に注目し、館蔵の伊万里焼約 80 点を出展。(96 字)
- ◇ 『古伊万里カラーパレット』は江戸時代の伊万里焼の「色」を特集した夏秋連続企画展示。前期にあたる今展では、釉薬による装飾に注目。釉薬はやきものの表面に施されるガラス質の膜で、伊万里焼では白い素地と透明釉による白、瑠璃釉の青、青磁釉の青緑、錆釉の茶などが初期から見られる。1 種類の釉薬でうつわ全体を覆うものが多いが、ひとつのうつわに複数の釉薬を掛け分けたり、染付や上絵などと組み合わせたりと、つややかな質感と色彩の共演による作風の豊かさが魅力である。館蔵の伊万里焼約 80 点を出展。(239 字)

会期中の催し物

- ◇ 展示解説
 - ☐ 7 月 19 日（土）・9 月 13 日（土） 各日 14:00 ～（約 45 分）
 - ☐ 参加費無料（要入館券） ☐ 予約不要
- ◇ 夏休み特別企画 8 月 9 日（土）はファミリーデー
 - ☐ 当日は中学生以下の方とのご同伴で一般料金から 200 円割引。
 - ☐ 1 日おしゃべり鑑賞会 当日は会話をしながらご鑑賞いただける日として開館。
 - ☐ やきもの絵付け体験 対象年齢：小学 3 年生～中学 1 年生（要予約・有料）※詳細は当館ホームページをご覧ください。
- ◇ ラウンジ & ギャラリー・トーク
 - ☐ 「古伊万里の釉薬-色と技-」（講師：当館学芸員）
 - ☐ 7 月 28 日（月） 14:00 ～（約 120 分／要予約・有料）※当日はご予約の方のみご入館いただけます。
※詳細は当館ホームページをご覧ください。

同時開催

- ◇ 『江戸時代の伊万里焼—誕生からの変遷—』（第 3 展示室）
- ◇ 『クリエイターズレポート』（やきもの展示室）

次回展予告

古伊万里カラーパレット—絵具編—

2025 年 10 月 10 日（金）～12 月 21 日（日）

お問い合わせ

公益財団法人 戸栗美術館 広報担当 宛

〒150-0046 東京都渋谷区松濤 1-11-3

TEL：03-3465-0070 FAX：03-3467-9813 E-mail：kouhou@toguri-museum.or.jp

公式サイト：https://www.toguri-museum.or.jp/



色絵 桐亀甲文 輪花皿

伊万里
江戸時代(17世紀末～18世紀初)
口径 34.2cm